

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	チャイルドシート設置費補助金				2担当課名	危機管理課							
3予算科目	款	2	項	7	目	1	事業コード	0282					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		不明	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市幼児用補助装置設置費補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先													
10補助金の目的	乳幼児の交通安全のため、チャイルドシート購入のための費用の一部を補助する												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	全ての乳幼児にチャイルドシートを設置												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	チャイルドシートの購入												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	乳幼児一人当たり1個を限度とし、その購入費の2分の1以内で10,000円を限度とする。												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	—	—											
人数	—	—											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金													
その他補助金													
一般財源	401	711	500										
合計	401	711	500										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市												
助成金	その他												
事業収入													
会費(自己負担等)													
繰越金													
その他													
合計													
市の補助金の割合													

補助金名称	チャイルドシート設置費補助金	担当課名	危機管理課
-------	----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	△	購入助成の補助金なので、公益性は低い
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	×	子供のチャイルドシートへの乗車は義務化となっており、購入推進の補助は必要性が低い
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	義務化となっているチャイルドシートへの購入補助は市民生活の向上に貢献しているとは考えにくい
④市民ニーズが高い事業か	△	年間の申請件数が数十件と余り多くの補助となっていない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか		
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	多大な影響があるとは考えにくい
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か		
⑧最適な補助対象か	×	既に補助金を交付目的は達成されたと考える
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか		
⑩目的や目標を適切に設定できているか		
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか		
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	チャイルドシート設置費補助金	担当課名	危機管理課
-------	----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)		
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	全ての乳幼児にチャイルドシートを設置
2達成状況	達成していると考えている

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	チャイルドシート使用に対する補助目的は達成されたと考える

(7) 今後の方向性

今後の方向性	dその他		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	子育て支援施策として、交付対象や交付金額等を再検討して、別事業として継続する
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	静岡県交通安全協会裾野分会補助金				2担当課名	危機管理課	
3予算科目	款	2	項	7	目	1	事業コード 0282
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始 H17以前 年度 ~ 終期(予定) ー 年度 (終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称		静岡県交通安全協会裾野地区支部裾野分会補助金交付要綱			
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	a運営費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)						
9交付先	静岡県交通安全協会裾野ブロック裾野分会						
10補助金の目的	静岡県交通安全協会裾野地区支部裾野分会の交通安全の啓発活動を補助するため						
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	交通事故件数等の減少						
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	交通安全のための啓蒙活動						

13積算根拠の有無	無
14積算の考え方 計算式	定額の申請により決済を行い、交付決定

15補助対象経費の設定の有無	無				
16補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費	積立金
その他補助対象の項目					

17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足
団体	1	1	
人数	67	67	

	決算		予算	(千円)
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度	補足
国・県支出金				
その他補助金				
一般財源	400	400	400	
合計	400	400	400	

19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足
補助金	市	400	400
助成金	その他	209	210
事業収入			
会費(自己負担等)	471	473	
繰越金	54	56	
その他	499	456	
合計	1,633	1,595	
市の補助金の割合	24%	25%	

補助金名称	静岡県交通安全協会裾野分会補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か		
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか		
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか		
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか		

補助金名称	静岡県交通安全協会裾野分会補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か		
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	交通事故件数等の減少
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	交通安全のための啓蒙活動推進 を維持していってもらう為	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	自主防災会連合会補助金				2担当課名	危機管理課		
3予算科目	款	2	項	7	目	3	事業コード	0287
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		自主防災会連合会補助金交付要綱			
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	c特定団体(その他)							
9交付先	自主防災会連合会							
10補助金の目的	自主防災会連合会の運営の円滑化を図るため							
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の活動の推進							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	各区での防災活動の啓蒙							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	基本費用200,000円+6,000円×86区							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体	1	1						
人数	86	86						
	決算		予算	(千円)				
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	238	238	238					
その他補助金								
一般財源	478	478	478					
合計	716	716	716					
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金	市	716	716					
助成金	その他							
事業収入								
会費(自己負担等)								
繰越金	56	46						
その他	55	45						
合計	827	807						
市の補助金の割合	87%	89%						

補助金名称	自主防災会連合会補助金	担当課名	危機管理課
-------	-------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか		
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか		
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか		

補助金名称	自主防災会連合会補助金	担当課名	危機管理課
-------	-------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の活動の推進
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	自主防災会連合会の運営の円滑化を図り、各役員の防災力を向上させ、地域の防災力の増進に役立っている為	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	街頭消火器格納箱更新補助金			2担当課名	危機管理課									
3予算科目	款	2	項	7	目	3	事業コード	0287						
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始			H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市自主防災対策事業補助金交付要綱									
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	b事業費補助									
8交付先分類	a区・自治会(自主防災会含)													
9交付先	自主防災会													
10補助金の目的	火災の際の初期消火を行い、火災による被害を減少させるため													
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	火災による被害の減少													
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	街頭消火器格納箱の更新													
13積算根拠の有無	有													
14積算の考え方 計算式	1箱当り4千円 4,000円×70箇所=280,000円													
15補助対象経費の設定の有無	無													
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金					
その他補助対象の項目														
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足											
団体	—	—												
人数	—	—												
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)									
	27年度	28年度	29年度	補足										
国・県支出金	74	41	80											
その他補助金														
一般財源	150	81	160											
合計	224	122	240											
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足											
補助金	市													
助成金	その他													
事業収入														
会費(自己負担等)														
繰越金														
その他														
合計														
市の補助金の割合														

補助金名称	街頭消火器格納箱更新補助金	担当課名	危機管理課
-------	---------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	街頭消火器格納箱更新補助金	担当課名	危機管理課
-------	---------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	2/3以内
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか		
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	火災による被害の減少
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	火災の初期消火活動が期待できるため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	防災倉庫改修補助金				2担当課名	危機管理課		
3予算科目	款	2	項	7	目	3	事業コード	0287
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市自主防災対策事業補助金交付要綱				
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	a区・自治会(自主防災会含)							
9交付先	自主防災会							
10補助金の目的	各区で備蓄等している防災用品等を保管する建物を確保するため							
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の資機材等の整備							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	防災倉庫の新設・修繕・更新							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	1棟当り2/3補助 最高133千円(H29度より200千円)							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足					
団体	—	—						
人数	—	—						
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27年度	28年度	29年度	補足				
国・県支出金	160	239	666					
その他補助金								
一般財源	320	477	1,334					
合計	480	716	2,000					
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足					
補助金	市							
助成金	その他							
事業収入								
会費(自己負担等)								
繰越金								
その他								
合計								
市の補助金の割合								

補助金名称	防災倉庫改修補助金	担当課名	危機管理課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	防災倉庫改修補助金	担当課名	危機管理課
-------	-----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	2/3以内
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか		
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の資機材等の整備
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	地元の防災資機材の整備に必要な為	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	地域防災訓練補助金			2担当課名	危機管理課					
3予算科目	款	2	項	7	目	3	事業コード	0287		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市自主防災対策事業補助金交付要綱						
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	b事業費補助					
8交付先分類	a区・自治会(自主防災会合)									
9交付先	自主防災会									
10補助金の目的	各自治会で実施される防災訓練に対し、訓練等に必要なものを購入した経費を補助することで、訓練の充実を図るため									
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の活動の推進									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	各区での防災訓練に必要な資機材等の購入									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	自主防災会に下記数式に基づき交付 (20,000円+100×世帯数)×86自主防災会									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27 年度	28 年度	29 年度		補足					
国・県支出金	1,201	1,049	1,250							
その他補助金										
一般財源	2,403	2,099	2,500							
合計	3,604	3,148	3,750							
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足							
補助金	市									
助成金	その他									
事業収入										
会費(自己負担等)										
繰越金										
その他										
合計										
市の補助金の割合										

補助金名称	地域防災訓練補助金	担当課名	危機管理課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	地域防災訓練補助金	担当課名	危機管理課
-------	-----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か		
⑦類似した補助金はないか		
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	自主防災会の活動の推進
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	市民の防災意識の向上に必要な 為	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	防犯灯補助金				2担当課名	危機管理課							
3予算科目	款	2	項	7	目	4	事業コード	0289					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		不明	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市防犯灯設置事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	a区・自治会(自主防災会含)												
9交付先	各区(自治会)												
10補助金の目的	区が所有している防犯灯の新設や修繕等に係る費用の一部を補助して、地域の安全の確保に努める												
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地域の安全の確保												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	防犯灯の新設・修繕等												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	要綱の別表で規定												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	85	85											
人数	—	—											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金													
その他補助金	2,000	3,400	2,000										
一般財源	2,230	2,453	1,813										
合計	4,230	5,853	3,813										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市												
助成金	その他												
事業収入													
会費(自己負担等)													
繰越金													
その他													
合計													
市の補助金の割合													

補助金名称	防犯灯補助金	担当課名	危機管理課
-------	--------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	防犯灯補助金	担当課名	危機管理課
-------	--------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	1/2か6/10
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か		
⑦類似した補助金はないか		
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地域の安全の確保
2達成状況	貢献している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	夜間の地域の防犯体制に必要な為	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	裾野市防火協会補助金				2担当課名	危機管理課					
3予算科目	款	9	項	1	目	1	事業コード	0901			
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度 ~ 終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市防火協力団体補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	a運営費補助					
8交付先分類	c特定団体(その他)										
9交付先	裾野市防火協会										
10補助金の目的	防火管理の向上徹底を図るとともに、危険物の安全管理と消防行政機関と密接な連携を保ち自主的な災害防止活動を推進するため										
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員事業所の火災、災害の減少										
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	防火管理資料の配布と幹旋及び各種講習会の開催等										
13積算根拠の有無	無										
14積算の考え方 計算式	定額の申請により決済を行い、交付決定										
15補助対象経費の設定の有無	無										
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金		
その他補助対象の項目											
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足								
団体	1	1									
人数	225	229									
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)						
	27 年度	28 年度	29 年度	補足							
国・県支出金											
その他補助金											
一般財源	128	128	128								
合計	128	128	128								
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足								
補助金											
助成金	市	128	128								
	その他										
事業収入											
会費(自己負担等)											
繰越金											
その他											
合計	128	128									
市の補助金の割合	100%	100%									

補助金名称	裾野市防火協会補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H23	年度
3内容	補助額の減額(45→43)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	根拠が不明確であるので、今後定めていく必要がある

補助金名称	裾野市防火協会補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	明確に定められていないので、今後定めていく必要がある
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	明確となっていないので、今後要綱等で明確にしていく必要がある
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか		

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員事業所の火災、災害の減少
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	協会に加盟している事業所の防火対策等推進していただいている為

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	今後も引き続き防火活動を推進していただく必要があるため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	須山火防隊補助金				2 担当課名	危機管理課		
3 予算科目	款	9	項	1	目	2	事業コード	0910
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度 ~ 終期(予定) 年度
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市防火協力団体補助金交付要綱			
6 性質別分類①	b (市の上乗せあり) 国・県の制度との連動				7 性質別分類②	a 運営費補助		
8 交付先分類	c 特定団体(その他)							
9 交付先	須山火防隊							
10 補助金の目的	自主的に地域住民の生命財産を災害から守ると共に、水火災等非常災害による被害の軽減と未然防止に努めるため							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消防力の脆弱な須山地区であるので、火防隊により消防力を補完することにより安全なくらしが保たれ、安心なまちづくりに結びつく。							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	地域住民の生命財産を災害から守ると共に、水火災等非常災害による被害の軽減と未然防止。消防力の確保、市民の安全な暮らしの確保。							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額の申請により決済を行い、交付決定							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体	1	1						
人数	40	40						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	140	140	140					
その他補助金								
一般財源	280	280	280					
合計	420	420	420					
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金	市		420	420				
助成金	その他							
事業収入								
会費(自己負担等)								
繰越金								
その他								
合計	420	420						
市の補助金の割合	100%	100%						

補助金名称	須山火防隊補助金	担当課名	危機管理課
-------	----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H25	年度
3内容	補助額の減額(500→350)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	根拠が不明確であるので、今後定めていく必要がある

補助金名称	須山火防隊補助金	担当課名	危機管理課
-------	----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	明確に定められていないので、今後定めていく必要がある
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	明確となっていないので、今後要綱等で明確にしていく必要がある
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか		

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消防力の脆弱な須山地区であるので、火防隊により消防力を補完することにより安全なくらしが保たれ、安心なまちづくりに結びつく。
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	須山消防団と共に火災時の消火活動を行なっていただいている為

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	今後も引き続き消火活動を消防団とともに進めてもらうため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	裾野市災害時消防活動支援隊補助金			2 担当課名	危機管理課								
3 予算科目	款	9	項	1	目	2	事業コード	0910					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市防火協力団体補助金交付要綱								
6 性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7 性質別分類②	a 運営費補助							
8 交付先分類	c 特定団体(その他)												
9 交付先	裾野市災害時消防活動支援隊												
10 補助金の目的	大震災時において市民の被害軽減に寄与するため、元団員等が有する消防に関する知識、技能及び経験等を活用し、消防団が行う消防活動を支援すること。												
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消防団の活動を支援することによって災害発生の際の被害を軽減することは、安全な暮らしが保たれるまちづくりに繋がる。												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	大地震等が発生した場合、災害情報の提供及び情報伝達、応急救護活動、消火活動、救助救出活動の消防団の活動支援												
13 積算根拠の有無	無												
14 積算の考え方 計算式	定額の申請により決済を行い、交付決定												
15 補助対象経費の設定の有無	無												
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	1	1											
人数	98	98											
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	226	226	226										
その他補助金													
一般財源	454	454	454										
合計	680	680	680										
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	680	680										
助成金	その他												
事業収入													
会費(自己負担等)													
繰越金													
その他													
合計		680	680										
市の補助金の割合		100%	100%										

補助金名称	裾野市災害時消防活動支援隊補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	根拠が不明確であるので、今後定めていく必要がある

補助金名称	裾野市災害時消防活動支援隊補助金	担当課名	危機管理課
-------	------------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	明確に定められていないので、今後定めていく必要がある
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	明確となっていないので、今後要綱等で明確にしていく必要がある
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか		

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	消防団の活動を支援することによって災害発生の際の被害を軽減することは、安全な暮らしが保たれるまちづくりに繋がる。
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	消防団では対処しきれない消火活動時の支援を行なってもらっている為

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	今後も引続き消火活動時の支援を行なってもらう必要があるため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			